

**応募方法** 1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☞koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

## 市民文芸

### 歌壇

岩崎 聰之介 選

外はゆき「命日ですわ」と妹のメールみじかし  
 亡父よいかに坐す 森 律子  
 畑仕事すでに無理とは言いつつもジャガ芋の種  
 またも揃えつ 菊地せつ子  
 コロナコロナに三年暮れてこんにちわ久しぶり  
 かなマスクを外す 星 明  
 人生を閉じる断捨離いと悲し生きてた証灰にす  
 るもの 佐藤 清流  
 片仮名の葉物もこのごろ増えましてとアートのグ  
 リーンを販売りに来 寺崎 悦子  
 庭先の枯草捲りクワッカス今朝そらここに黄の  
 いろ頭たす 阿部かつみ  
 福寿草倍と増えたるわが庭にしあわせ噛みしめ  
 向き合っている 遠藤 舞  
 免許証返納スパーなどにも行けなくて弱者の  
 辛さ改めて知る 大庭美智子  
 亡父にと友が持参の花の束季節先どり春りを放  
 つ 佐藤 啓子  
 ふと出づる 夕焼け小焼けて日が暮れて 唄ふ  
 爺を夕日が照らす 齋藤 巖

### 俳壇

山家 弘子 選

草川の波の泡立つ雪解かな  
 山峡の里はまだまだ春炬燵  
 北帰行近し白鳥の声高し  
 夕映えの丘の傾りに春の声

藤多伊都子  
 菊地せつ子  
 我妻 孝則  
 山田喜一郎

### 柳壇

四竈 英夫 選

紅白の踏まずに歩く落椿  
 凝り性の御朱印巡り春きざす  
 梅の香に背中を押され野良仕事  
 新入生だぶだぶ服や靴が鳴る  
 お城への坂道白梅ほころびぬ  
 友逝くや庭の白梅咲いてをり

評一句目、厳しい寒さが俄かに暖かくなり、雪が解けて泡を立てて流れゆく川の様を力強く描写。  
 二句目、町は桜の花がほころび始め、鶯の声を聞いたとも。しかし山里はまだまだ寒さが厳しく炬燵は欠かせない。  
 三句目、春になり白鳥の声が一段と高く賑やかに。北方へ帰る日が近くなったのだ。

二刀流復興未来勇気湧く  
 雪解けの黒い山肌春告げる  
 断捨離も勿体ないが先に立ち  
 いの一番庭を彩る福寿草  
 物価高晩酌銚子目減りする  
 我が家の申告すればまた赤字  
 年重ね動ける喜びかみしめて  
 素ツピンだ今日もマスクは外せない  
 大人気パンダ惜しまれ古里へ  
 あの国は固い約束反故にする

評一句目、WBCで大谷選手の投打の活躍。二刀流は世界中に感動を呼んだ。年収も約85億円と異次元の額に驚嘆の声。  
 二句目、白銀の山並みが次第に解け、黒い山肌が現れてくる。自然の力を感じる。種まき入道が姿を現す日も近く農家の心は急ぐ。  
 三句目、意を決して断捨離に臨んだものの「惜しい、使える、勿体ない」で決断が鈍る。果ては捨てられた家具を持ち帰る人も？

Shiroishi Market

## フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力をお届けたい！～

担当者がオススメする地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします！  
 ～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

市内の農産物直売所情報▶



◀マップの表紙はカラフルな水色です！

▲各直売所の場所や営業時間などを掲載しています

### 農産物直売所マップ紹介

持ち運びに便利なポケットサイズ版で、市役所1階総合案内窓口や農林振興センター（農林課）、観光案内所に設置しています。各直売所には旬の野菜やオススメ商品などを取りそろえています。マップを片手に、ぜひ直売所を巡ってみてください！  
 ※白石市農産物直売所連絡協議会に加盟する直売所の情報を掲載しています。  
 ※詳しい情報は、各直売所までお問い合わせください。

☎農林課 ☎22-1253



▲白石川へ向けて一斉放水！

### 地域防災の要として

#### 令和5年度白石市消防団春季消防演習

4月2日、白石川緑地公園で「令和5年度白石市消防団春季消防演習」を行いました。演習には白石市消防団の8分団から530人が参加。部隊訓練や実地放水などを行い、日ごろの訓練成果を披露しました。大野芳郎消防団長は「市民へ防火意識を呼びかけ、消防技術向上の訓練を継続してほしい」と団員へ訓示しました。



▲図書館職員に「福中コラージュ」を手渡す生徒

### 白石の魅力フレームに 手づくりの「福中コラージュ」を寄贈

3月16～23日、福岡中学校の生徒が市内の公共施設や介護施設など20カ所に「福中コラージュ」を寄贈しました。このコラージュは、本市の自然や文化など地元の誇れるものを素材として、フレームの中に自由に表現した作品。生徒は「魅力がたくさんを白石を元気あるまちにしていきたいです」と話してくれました。



▲真剣に絵付けをする児童たち

### 地元の伝統工芸を学ぶ

#### 市内小学生による「こけしの絵付け」体験

4月13日、白石第一小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この絵付け体験はこけし工人を講師に迎え、市内小学校6年生を対象に実施。児童たちは顔や模様を描き方を教わり、思い思いのこけしを描いていました。児童の作品は「第65回全日本こけしコンクール」の会場に展示されます。



▲ミズバショウを堪能しながら園内を散策する参加者たち

### 蔵王山麓に春の訪れ 水芭蕉の森開園式

3月28日、福岡深谷地内にある「水芭蕉の森」の開園式を行いました。同園には数万本のミズバショウが群生しており、毎年春の訪れを告げるかわいらしい花を目当てに多くの方が訪れ、憩いの場として親しまれています。訪れた参加者は「ミズバショウを見ると春の足音を感じられますね」と話してくれました。